

大好きなビオトープとカワバタモロコ

中藪洗貴・北園雅・村上碧・中谷颯樹（宝塚市立逆瀬台小学校 ビオトープ委員会）

はじめに

私たちの学校は六甲山系の西のはしこの行者山のしゃ面にあります。運動場のすみに三等三角点があって、標高は220メートルです。とてもながめがよくて大阪や大阪湾がよく見えます。裏はすぐに山なのでリスやテンなどを見かけることがあります。野鳥もたくさんいて3年生は野鳥観察をします。タカもよく見かけます。

体育館の南側に私たちの自まんのビオトープがあります。この池はみんなの大好きな場所です。水の中に入ってメダカやヤゴをつかまえられるからです。メダカは水辺に集まるので手ですくうのがおもしろいです。6月にはモリアオガルがタマゴを見つけました。夏にはトンボやバッタをつかまえます。トンボはシオカラ、モノサシトンボ、ヤンマが多いです。先生の話では少し前まではショウジョウトンボがいたそうです。夏の終わりにはミヤマアカネが多くなります。冬は池が毎日こおるので、氷を割って遊びます。

池の中にはメダカのほかにモツゴやカワバタモロコがいます。カワバタモロコは去年の5月にキリンビオトープからゆずってもらいました。絶滅が心配されているカワバタモロコをふやすことも私たちビオトープ委員会の目標です。ビオトープ委員会は月に一回、全校生によびかけてビオトープのそうじをします。それから、春と秋に池の中の生き物を調べます。去年の秋の調査でカワバタモロコの赤ちゃんは見つかりましたが、少なかったです。人と自然の博物館の田中先生が「モツゴが多すぎるのではないか。」と言われたので、今年はモツゴをへらしてみることになりました。

春の調査

5月22日の放課後、3つのトラップを池に設置しました。30分後に引き上げるとたくさんの魚が入っていました。モツゴ140匹、カワバタモロコ46匹、カワムツ2匹。トラップをしかけたのは1度だけだったので、池の中にはその何倍もの魚たちがいると思います。カワバタモロコがふえているようで安心しました。

モツゴへらし作戦

つかまえたモツゴは、ほしい人にあげることにしてペットボトルを持ってきてもらいました。配る日には、いっぱいの人が集まって大変でした。家で飼えなくなったら必ず学校に返すようにと書いた手紙を渡しました。

秋の調査

今年は音楽会があったので、秋の調査がちょっとおくれてしまいました。11月29日の昼休みに池にトラップをしかけました。寒い日が続いたので長く水の中に入れることにしました。放課後引き上げると・・・がっかりでした。メダカが1匹入っただけでした。水温が10度だったので寒くて魚たちの活動が止まっていたのです。トラップのエサを食べに来なかったのです。

これからのこと

来年の春にやりなおすことにしました。6年生は3月に卒業だけど、今の5年生に引き継いでもらいます。カワバタモロコがふえていることを願っています。

